

● 8月19日(金) 曇/晴 恵山(618m)

○ 今回は2回目の恵山。期待が外れ霧に包まれた登山となった。

・5時40分起床。夜トイレに行った時は霧雨が降っていたが、今は曇っている。

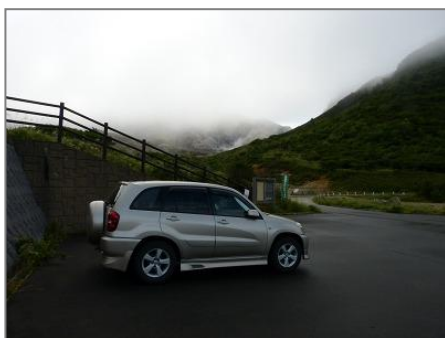
恵山は霧の中に隠れていて見えない。天気予報では天候不順で台風もやってくる。これから当分天気が悪くなると云っている。せっかくだから雨が降らなければ今日恵山に登ってしまいたい。

天気の様子を見ながら朝食をとった。

・恵山には雲がかかっているが下の方は晴れてきたので8時前に道の駅を出て恵山に向かった。

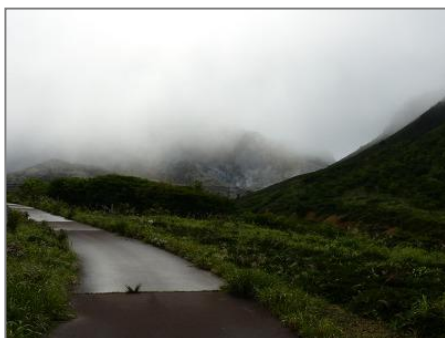


恵山は雲の中に隠れている

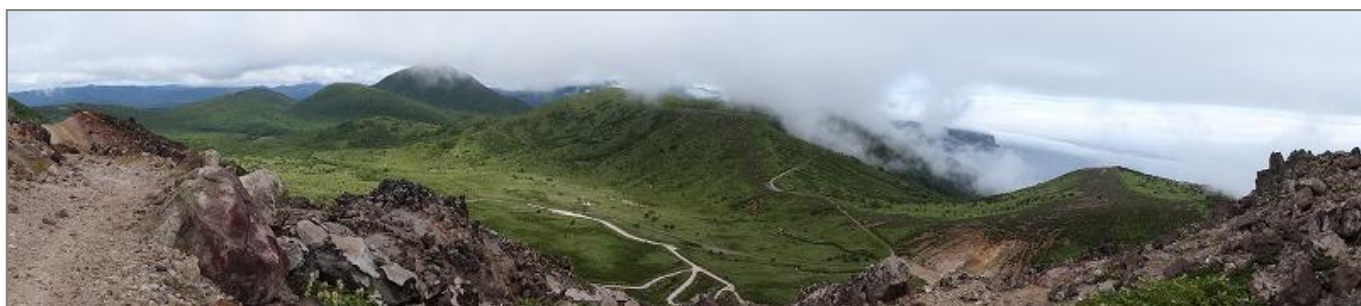


・すぐ近くなので標高約300mの恵山公園の広い駐車場に15分で着いた。あたりは霧が立ち込めている。当然登山者は誰も居らず、駐車場には私の車しかない。10年前に来た時と全く同じ状態だ。

・登山の支度をして登り始めるとだんだん以前歩いた時の記憶がよみがえってきて、霧の中でも登山口も登山道も迷うことなく歩くことが出来た。登りはじめの道は公園の遊歩道なので良く整備されているが、権現堂登山コースに入ると溶岩や硫黄の混じった火山の岩山となる。



下の方は霧が晴れていて、広い公園が足元に広がって見える。



・山頂まで標高差300m弱だが、溶岩の上をぐるぐると回って登り、距離が約3kmもあるので1時間半近くもかかってしまった。途中で霧を通して見え隠れする溶岩の奇岩が面白い。



・山頂近くなると草花が生えて来て、ウラジロタデ、ノリウツギが花を咲かせ、ガンコウラン、コメバツガザクラ、コケモモなどは花が終り実をつけていた。
ユオウゴケが真っ赤な子器をつけている。ここは火山だから当然生えているのだな。



・山頂には9時40分に着いたが一面の霧で視界は全く無い。
視界は無いが、薄い霧なので明るいし時々薄日もさすので暖かい。



・権現堂の大権現様に挨拶してのんびりしていると、大権現様のご利益か、突如霧が晴れて視界が開けた。恵山の街並とそれに続く海岸線がはっきりと見えた。



・霧の晴れ間からさし込む太陽の日差しは、暑いというより暖かくて気持ちが良い。山頂には誰もいない。私一人のための山頂が広がっている。ノギランが咲きコメバツガザクラが果実をつけて一面に広がっている。誰にも邪魔されることなく景色を見たり植物を観察したりして小一時間山頂を楽しんだ。

・雲が湧いてきたので10時半前に下山開始し約1時間で駐車場に着いた。駐車場から見上げてみると山頂はすっぽりと雲の中に隠れていた。下り道では登ってくる4人の登山者とすれ違った。前回登った時はおばちゃんの団体がいて賑やかだったが、今回は登山者が少なく実に静かな恵山を楽しんだ。

・駐車場から下りの道の途中にある「市民センター」で入浴し、そばにある「つつじ公園」で昼食を、ついでにトイレの水道で汗に汚れた衣類を洗濯した。恵山は雲の中だが下は晴れていて太陽がガンガン照っているの洗濯物もどんどん乾いてゆく。

・帰りのフェリーまで1日ある。明日はどうかと考えた末、以前寄って印象深い松前へ行ってみることにした。今日はこれから函館空港へ行ってお土産を調達し、函館へ行ってフェリー乗り場を確認し、今夜は北海道新幹線開通で新しくできた道の駅「木古内」をめざすことにした。この道の駅には本格的なレストランがあると云うので、今夜は打ち上げの祝賀会をしようと思う。

・まず函館空港へ。これはまた小さな空港だ。お土産売り場をのぞいたが売り場が4,5軒しかなく、気のきいたものは何もないので、何も買わずにすぐ出てきた。どこか函館の街でお土産物屋でも探すか。

・フェリー港で電話予約してある便の確定をしようとしたが、出港の4,5時間前からしかやらない、というので乗り場を確認しただけでここも即退散。木古内へ向かうも函館市内がものすごい渋滞。市電は走っているし、車は多いし、信号はやたらと多くて信号の間隔が長いし、函館はこんなところだったかな。とにかく函館の市街を抜けるのに時間がかかり大変だった。

・4時ごろ木古内に着いた。立派な新幹線の駅が出来ていて駅前に道の駅「みそぎの郷きこない」がある。・まず新幹線の駅を散策した。できたばかりなので全てがきれいでエスカレーターやトイレなど設備も充実して完備されている。ただ残念ながら人がほとんど見当たらず、当然店も何もない、閑散とした駅だ。時刻表を見ると新幹線が止まるのは1時間に1本。誰が乗るのだろうか？



・道の駅「みそぎの郷きこない」は新幹線木古内駅と駐車場を挟んで向かい側にあり、広い駐車場は駅駐車場と共有らしい。道の駅舎内はなかなか充実していて、人も多く賑わっている新幹線客を日当てのお土産物も揃っていて、函館空港で調達できなかったお土産を幸いにもここで調達できた。



・道の駅舎に続いてレストランがある。名前は「どうなん des」。一流シェフの店だそうで、なかなか洒落たレストランだ。今夜はここで夕食予定。楽しみだ。

・6時になったので今回の「北海道山紀行」打ち上げ祝賀会を行うべく、レストラン「どうなん des」へ入った。

名前はここ道南にあるので「道南です」から名付けたようだ。奥田政行というイタリア料理の一流シェフが経営し、なかなか洒落たレストランだ。週末だからだろうか、私が入った時はお客様でほぼ満席、皆さん結構お金持ちだな。



私はスタッフお勧めの焼き肉を食す。生ビール2杯も飲んでご満悦。一人の祝賀会は無事終了した。



・天気予報では、台風が道南に向かって接近中で明後日上陸するかもしれないと云っている。フェリーが欠航になったら帰れない。私の予約は明後日早朝4時30分函館港発の便、ぎりぎりだ。明日は、というより明後日早朝2時にフェリー港へ行って手続きし、4時半のフェリーが無事出港できるのを祈るだけだ。

・明日の日中は松前へ行って時間を潰すことにしている。

7時過ぎ、広い駐車場の真ん中に止めた愛車の寝室で、今回の山紀行の最後の夜を寝た。